

平成23年度 自己評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
校長氏名	山本 紀代
作成日	平成24年2月2日

1 教育目標

<p>心豊かでたくましく生きる子ども</p> <p>自分のよさを認め 人のよさを認められる子 命を大切にする子 学ぶことを楽しむ子</p>
--

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	1 学校の情報提供 2 地域との連携 3 教育ボランティア等の協力	1 教育環境の整備 2 道徳教育の充実 3 読書活動の推進 4 特別活動の精選と内容の充実	1 基礎的基本的内容の確実な定着 2 算数科指導を通して、思考力の育成 3 現職教育の充実

取組の状況【D】	・HPを一新し、学年の取組が発信できるよう充実させる。 ・地域へ回覧する学校便りを充実させる。 ・和歌山大学等への、学生ボランティアの要望を行う。	・いのししの被害により、芝生が育ちにくい正門前の花壇の整備を行う。 ・道徳の教科書を揃える。 ・読み聞かせ等により、本に親しむ機会を設ける。 ・学校行事を見直す。	・学校生活全体を通して、言語活動の充実を意識した指導の実践を行う。 ・TTや少人数指導等、個に応じた指導を工夫する。 ・先進校の取組等参考資料を充実する。 ・研修により、新教育課程の実践と評価を指導に生かす。
(評価結果【C】)	・HPの更新は、十分できなかった。 ・学校便りの11月号は、学校開放月間に、間に合わせる事ができた。学期に1度は、タイムリーに提供したい。 ・日曜参観の講演会に、地域の方も参加していただける事ができた。 ・和歌山大学等から、複数名の学生ボランティアの協力を得られた。	・球根や花の苗をいただき、植えることができた。理科室南を整備しガーデントラスを完成させる。 ・各学年に1学級児童数分の教科書を揃えることができた。年間指導計画の作成が課題である。 ・授業時数の確保と学習の質の向上に向け、より一層の精選が必要である。	・言語活動の充実が、各教科等の特性に応じた指導には至らなかった。 ・TT・少人数指導や個別指導により、進んで学習に向かう子供が増え、基礎学力の向上が見られた。 ・県外先進校へ出張し、貴重な資料を得た。その還元と活用が課題である。
改善方法【A】	・HP充実のため、入力方法等への抵抗を無くすよう、校内研修を積極的に進める。 ・地域ボランティアの募集を行い、地域の学校として多くの方々に来校していただける機会を作るようにする。	・読書に親しむ機会を増やすため、参観日等で「うちどく」の啓発を行う。 ・子供と共に四季折々の花を植え、世話をすることを通して、いつくしみの心を育てる。 ・地域学習を深め、郷土を誇りに思う心を育てる。	・学ぶことを楽しいと思うよう、一層毎日の授業の工夫改善に取り組む。 ・県外先進校への視察等、計画的に研修を行い、全員が共有し実践に生かす。 ・校内研修のあり方を見直し、職員一人一人が互いに高め合える方法を検討し、実施する。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・子供の安全確保：登下校時、自然災害時、自然豊かな環境との共存等、本校特有の課題への対応。 ・外国語活動の充実：月2回でもネイティブの指導者によるTT指導を行いたい。また、子供だけでなく、教師の指導力向上に係わっていただけの方を見つけたい。 ・教材として校区の豊かな財産がもっと活用できるよう、地域の知恵を取り込む工夫が必要である。
--